

## 令和7年度入学試験 出題の意図

選抜区分：一般選抜第1期

科目：生物基礎

### 出題の意図

高校で学習する生物領域は、看護学部や食物栄養学科で学ぶ専門科目の基礎となる科目である。高校の授業で学ぶ基礎的な概念や原理・法則を理解することは勿論のこと、自然に対する関心や探究心を高めた生徒を選抜したいものである。そこで次のことを念頭に出題した。

1. 学習指導要領に記載されている「生物基礎」の目標を踏まえた内容にする。
2. しっかりした学力が身についていることを確認するために、基礎・基本的な内容の出題に重点をおき、大学・短大進学後の履修に差し支えないことを確認する。
3. 高校側が問題分析を行ったとき、学習指導要領に準拠した基礎・基本的な知識や技能を身につけた生徒を育成する授業を行うことが、本学を目指す生徒への第一歩であるということを意識して出題する。
4. 理科は他の教科と大きく異なり実験・実習を伴うので、その気になれば多くの感動を生徒に与えることができる。そのメリットを問題作成に取り入れ出題する。

大問番号	大問別 出題の意図
1	<p>【内容】細胞・酵素 生物の分類と細胞の大きさを把握しているか、酵素に関してはカタラーゼを取り上げた一般的な問題。</p>
2	<p>【内容】DNA・細胞周期 DNAについての選択問題と細胞周期の把握がなされているかを調べる基礎的な問題。</p>
3	<p>【内容】恒常性 グラフを見ながら、適切にホルモンの区別が出来ているか、また、血糖量の計算が問題文を見ながら正確に出来るか計算力を問う問題。</p>
4	<p>【内容】免疫 皮膚の移植による拒絶反応を理解しているか、そして、細胞性免疫と体液性免疫の区別を正確に理解しているか、論理的な問題。</p>
5	<p>【内容】生態系 陽生植物と陰生植物についての一般的な問題、語群もあり選択問題なので基礎的な問題。</p>